

壬生町第7次総合振興計画等へ

## みぶ“まちづくり”住民会議からの提言書

令和7年1月7日

壬生町長 小 菅 一 弥 様

住民会議 代表 山根 賢二  
参加者一同

令和8年度からスタートする壬生町第7次総合振興計画等の策定に当たり、私たち町民が主体になり、壬生町が目指すまちづくりを話し合っ

た。会議は、全3回で、様々な立場で熱い想いを

持っている町民が参加し、将来の壬生町がより良くなるように活発な意見を交わし、本提言書のとおりとりまとめたところ

# 目次

<b>1</b>	<b>住民会議の実施概要</b> .....	<b>1</b>
1-1	住民会議の目的 .....	1
1-2	住民会議の参加者 .....	1
1-3	開催数及び実施日時等 .....	1
1-4	参加者.....	1
<b>2</b>	<b>実施結果</b> .....	<b>2</b>
2-1	第1回.....	2
2-2	第2回.....	5
2-3	第3回.....	9
<b>3</b>	<b>住民会議からの提言</b> .....	<b>10</b>

# 1 住民会議の実施概要

## 1-1 住民会議の目的 .....

町では令和6年度から令和7年度にかけて第7次となる総合振興計画等を策定しているところと拝察します。計画の策定に向け、住民の日ごろの町に対する課題観や10年後を見据えた取り組みのアイデア等を伺い、壬生町第7次総合振興計画等に反映させることを目的として住民会議を行いました。

## 1-2 住民会議の参加者 .....

総合振興計画等策定のために実施した「壬生町住民意識調査」の配付時に参加者募集のチラシを同封したほか、町広報にて参加希望者を募りました。その結果、13名の住民から応募があり、9名の方にご参加いただきました。

## 1-3 開催数及び実施日時等 .....

住民会議は全3回のプログラムで、以下の日程で行いました。

回数	日時	場所	参加人数
第1回	令和6年10月30日(水) 18:00~20:00	壬生町役場 大会議室	9名
第2回	令和6年11月19日(火) 18:00~20:00	壬生町総合運動場管理棟2階 会議室	8名
第3回	令和6年12月6日(金) 18:00~20:00	壬生町役場 大会議室	8名

## 1-4 参加者 .....

グループとお名前は以下のとおりです。

グループ名	お名前（順不同 敬称略）	
Aグループ	山根 賢二 小高 記美子	板橋 徳治 伊藤 陽子
Bグループ	伊達 幸雄 堀田 有輝 内藤 光司	川島 千代美 新井 里香

## 2 実施結果

### 2-1 第1回 .....

#### 主なプログラム 内容

- ① 「総合振興計画」と「まちづくり住民会議」とは？
- ② 自己紹介
- ③ 壬生の<sup>みりょく</sup>を探そう！
- ④ 壬生のみらいビジョン案を考えよう！

#### ① 「総合振興計画」と「まちづくり住民会議」とは？

---

策定予定の総合振興計画等の概要と策定にあたっての「まちづくり住民会議」の位置づけ、全3回の会議の進め方について説明を行いました。

#### ② 自己紹介

---

「自分にとって壬生町がどんなまちか」を 10 文字で紹介する自己紹介を参加者同士で行いました。

#### ③ 壬生の<sup>みりょく</sup>を探そう！

---

9マスのビンゴシートに壬生町の<sup>みりょく</sup>を書き出し、参加者から発表のあった<sup>みりょく</sup>をチェックして、縦・横・斜めでラインをつくるオリエンテーションを行い、参加者同士で町の魅力を共有しました。

#### ④ 壬生のみらいビジョン案を考えよう！

---

③で出てきた<sup>みりょく</sup>も参考にしながら、「壬生町がどんなまちになるとよいか」をテーマにビジョン案の検討を行いました。また、出されたビジョン案に対して③で出てきた<sup>みりょく</sup>の紐づけ（関連づけ）を行いました。

## ◇第1回「壬生のみらいビジョン案を考えよう！」の結果【Aグループ】

ビジョン案（めざすべき町のすがた）	まちの壬力（魅力）
近所の人と楽しくつき合える	気のおけない仲間が多い
コミュニティが充実してあたたかい町（「だれひとり、とり残さない」を現実に）	
住み続けたい、人にすすめたいまち	桜の花が多く見物できる場所が多い 水がおいしい 変化発展し続けている 自然が豊か 川がきれいで釣が出来る 災害が少ない
世代間の交流が普通にあるまち	お祭り（八坂祭）があり楽しい（神社、寺が多い）
若い人と高齢者が一緒に集う町	
若者が働きやすい町	農産物おいしい
はたらく場がたくさんあるまち	人が多くにぎやかである
若者が戻ってきたくなる町（結婚・子育てするとき）	野菜の直売所があちこちにある。
子育ての方が一に対応できる町（障がい・病気 不登校など…）	わんぱく公園がある
高齢者を大切にする町	高齢者が元気である 自分の子供が近くの都市に住んでいる
高齢者が元気な町	
年をとっても独り身になっても安心して住み続けられる町（雇用の場としても防犯も）	
年を重ねるのが楽しみになるまち	
医療サポートがしっかりしている町	大学病院。病院が充実 病院があり安心 大きな病院がある 大学病院がある
町と病院の連携、独居世帯のサポート	
健康寿命を町ぐるみでのばす取組み 楽しく長生き♡	公園が近くにある。
老人が買物が出来ること	スーパー飲食店などが充実 大型商店が多い 買い物に困らない 買い物が便利です
誰もが移動に困らないまち	交通の便が良く、電車、高速道路が近い 東武線がある（運休になりにくいので助かる） 各市町の高校に通いやすい
町政と話しやすい	役場が町の中心に位置してる
住民がまちづくりにかわり続けるまち	
女性が参加出来る	ホテルがある すてきな音楽、コンサート多い 高速のICが近い 高速インターがあり便利 歴史がある（古墳、寺） 古墳がたくさんある歴史の町！！
女性にやさしい町	
イベントに参加しやすい町	
音楽や芸術にふれられるまち（身近に）	
趣味を通じて仲間が多い町	
外灯が多い町	隣に大きな都市が多い

## ◇第1回「壬生のみらいビジョン案を考えよう！」の結果【Bグループ】

ビジョン案（めざすべき町のすがた）	まちの壬力（魅力）
子育てしやすい口コミで転入者の増を目指す	公園などが多い、大きい
子育てしやすい町	わんぱく公園がとても良い
ワーキングママが安心して子育てできるまち	住みやすい
出産したら、木をうえる。公園をつくる	市街地と自然のバランスが良い
若者が将来に希望を持てるまち	生活しやすい
若者が創業しやすい町（新しくお店を始めやすい）	
雇用者が安心して事業を営めるまち	
安定した就労先	
「おもちのまち」を駅から発信。町づくり	“おもちのまち”という名前
おもちの町の言葉を生かしておもちを製造、50年前に	
おもちの町	
いじめをなくす。ない！！子育てをする	教育が充実している。
マナーリテラシー教育	夕方に論語？が流れる
公教育の充実	
安心、安全の通学路	
海外派遣、英検助成の継続	
町に愛着、自信を持てる教育	
学校の先生だけでなく、企業や住民が教育の担い手になる町	
農業をやる。子供たち参加、おしえあう	かんぴょう
かんぴょうで町おこし	かんぴょう生産全国1位
	いちごがおいしい
	いちご
	米が美味しい
夏の暑さでもすごせる場所づくり	医療機関が充実している（3件）
健康増進に力を入れるまち	大きい病院がある
住民が健康な町	大学病院
福祉が強い町	高齢者がパワフル
安全、安心 防災体制を作る	危険なエリアがない（安全）
	災害が少ない（3件）
高齢化に伴い交通機関の見直し（具体的に無人運転技術の導入）	交通の便が良い（3件）
町民負担の少ない行財政運営	町役場がキレイ
ランニングコストの低い（インフラ等）コンパクトな町づくり	上下水道が充実している
情報について・デジタル化・AIの導入	
前総合振興計画の進捗状況をまとめ、次期の計画においこむ	
宿泊施設	
外国人の受け入れ体制を作る	
	歴史のある町
	「壬生」古い歴史がある
	飲食店多い
	ラーメン二郎がある
	コストコがある（2件）
	買い物しやすい

## 2-2 第2回 .....

### 主なプログラム 内容

- ① 壬生のミライ予測
- ② レクチャー「今の壬生町」・「ミライのできごと」
- ③ ミニグループワーク「説明を聞いての感想の共有」
- ④ グループワーク「壬生の課題を考えよう！」

#### ① 壬生のミライ予測

2045年の壬生町の人口に関する統計の将来予想をクイズ形式で行い、将来の町の姿の共有を行いました。



#### ② レクチャー「今の壬生町」・「ミライのできごと」

現行の総合振興計画の進捗状況の説明を行うとともに、2045年までに起こると言われている事柄の共有を行いました。

#### ③ ミニグループワーク「説明を聞いての感想の共有」

②のレクチャーを聞いた後に、印象に残ったことや重要だと思うことについてグループ内で話し合い、共有を行いました。

#### ④ グループワーク「壬生の課題を考えよう！」

①から③の内容を通じて、ビジョン(第1回のビジョン案をもとに5つに集約したもの。下記参照)ごとに、壬生町の課題について意見出しを行い、共有したのち、特に重要だと考える課題に投票を行いました。

ビジョン		キーワード
ビジョンⅠ	若者が集まり活力みなぎるまち	産業、若者
ビジョンⅡ	みんなの「安心」を守るまち	福祉、医療、健康
ビジョンⅢ	暮らしの「便利」と「安全」を守るまち	治安、防災、移動(交通)
ビジョンⅣ	子育てを応援するまち	子育て、教育、住環境
ビジョンⅤ	みんなでつくる壬力あるまち	文化、女性、外国人、コミュニティ、協働、行政

### ◇「③ミニグループワーク」の感想集

- 子供や若者が元気をくれる。生産年齢が必要です。人材づくり、教育、未来教育、思いやる心の教育。
- 人口減少に対して必要と人口？いまよし方策。すべての項目に対して変化が大きい。自然の変化・課題に対してどう取り組むか？
- 第6次総合振興計画の時点で必要な姿勢は網羅されている一方で、指標に何を設定するかは難しいと思った(10年で時勢は変わるから)。統計情報はネガティブなイメージの未来が多く感じた。人口が減る未来は変えられないから、選ばれる町にならないと、と思った。
- 出生数を増加させる。医療、福祉の更なる充実。生産年齢人口を増加させるための取組。人工知能と就業(雇用)のバランスをとる。
- 人口減少に伴う事象が多発する。科学技術は無人化や人の手をなるべく介さずに医療が可能になる。これは一見明るい未来のように聞こえるが、人が人を支える、人から学ぶ、人を思いやるという人間の根本の営みが加速度的に失われていくことと表裏一体である。未来を担う子ども達や若い人達が、どう夢や希望を持って住み続けられる町にしていけるかが重要な課題と思います。
- 認知症増だが、治療など発展もあるので今ほどおそれる必要はないのかも？日本での人口や労働者数が減る、海外に出るなどもっと減りそう。町の取組、SNSで発信されていると、活発なことが伝わる(資料館)。創業数は目標が低い？
- 取組の内容は町としておおむね、未来の出来事の予想は多くは甘いと思った。特に人口問題はもっと厳しいと考えています。
- 人口減少が継続する。高齢者が増え、医療費が増加する。健康で長生きする人を増やす必要がある。結婚する人を増やす施策が必要。そのための援助が必要。

## ◇第2回「壬生町の課題を考えよう！」結果【Aグループ】

ビジョン	課題	重点度
ビジョンⅠ	若者が働きやすい事と、将来に希望の持てる	
若者が集まり活 かみなぎるまち  (産業、若者)	おもしろい仕事が見えない(情報発信・創業)	
	壬生町出身のすごい人と繋がりがかりを持てる機会	
	ボランティア活動に若者を呼び込むための諸施策を立案する	1
	雇用の場づくり、住環境の整備、子育て支援はセットで推進	1
	壬生で働き、家庭を持つ若者を町が応援する(町=町の住人も)	
	おしゃしな商店がたくさん集まる特区(壬生にはないですね)	
ビジョンⅡ	町民が安心安全に健康でいられる	
みんなの「安 心」を守るまち  (福祉、医 療、健康)	永く住み続けられる	
	高齢になっても働く、人の為になる場	
	子がいなくても安心して暮らせる	
	ITなどの技術で情報を即時に受けとれる、発信できる環境	2
	防犯パトロール等不審者を近づけない活動を住民が日頃行う町	
	防犯カメラを設置し、安全な町を意識させる	
	医療と福祉の連携を町の行政が任う。高齢者もだけど、障がい児の子育ても必要。そのための人材の確保と育成をひとり身で病気になったら誰を頼ればいいのか?	1
	健康寿命を延ばすことにこそ税金を!!町民が町づくりに参加したくなるしくみづくり→人が集まることでコミュニティの活性化→ひとりひとりの健康寿命にも良い影響がある。	
ビジョンⅡ・Ⅲ	買物が楽しく老人にもやさしい、健康に暮らせる	
ビジョンⅢ	交通機関が便利で明るい町中	
暮らしの「便 利」と「安全」を 守るまち  (治安、防災、 移動(交通))	誰でも簡単に利用できる交通手段	
	隣近所が助け合う関係作りを日頃から行う	
	駅まわりの活性化	
	壬生町役町と駅を結ぶ移動手段をもっと便利に。デマンドタクシーの利便性UP	
	壬生町の安全で美味しい地下水を永続的に享受できる工夫を	
	コンパクトシティについて住民がもっと意見を語り合える住民会議の場をつくらう	3
	おもちゃのまち駅をもっと活用すべき。TVで多用!	2
ビジョンⅣ	教育の問題を相談しやすい	
子育てを応援 するまち  (子育て、教 育、住環境)	自治会等近くの人達が助け合う	
	特別な教育プログラム、先生と出会うような学校	2
	若い人へ行政が応援していることを知らせ、頼られる関係の構築	
	中学生、高校生の時から将来ビジョンを伝える場を多く作る(教育の場で)	
	不登校児童、生徒の増加。シングル家庭の増加。教育を受けられない家庭(受けな い家庭)が孤立している	2
	学校の人員不足。対応力が低下している。教職員が疲弊、傷病休暇へ…。深刻化	3
ビジョンⅤ	町の公報がすべての人々に届くこと	
みんなで作る 壬力あるまち  (文化、女性、 外国人、コミュ ニティ、協働、行 政)	女性の意見が理解される	
	音楽、アート、歴史あふれる雰囲気	
	実施されている取組が伝わらない→伝わる仕組み	
	健康長寿の人が多い町にしていくための諸施策を積極的に押し進める	
	自治会が衰退している。地域のお祭やコミュニティが維持できない。担い手不足	3
	外国人労働者、その家族が地域に浸透していない。単身移住世帯も	

※重点度は、グループ内で出た課題のうち、特に重点と考えられる課題について票を入れる方式で整理した。(Aグループ 4名×5票=20票)

## ◇第2回「壬生町の課題を考えよう！」結果【Bグループ】

ビジョン	課題	重点度
ビジョンⅠ	まずは若者達が集って意見交換をする	1
若者が集まり 活力みなぎる まち (産業、若者)	スポーツ施設、大人も子供も 若者の活躍できる場があるのかわからない 若者達の何を必要としていることを分析させる 遊具のある明るい公園 農業等産業の後継者不足	1 2
ビジョンⅡ	地域別に安全に対する意見を把握する	1
みんなの「安 心」を守るまち (福祉、医 療、健康)	医大を最大限活用する 予防接種無料 休日の医療体制 和食をたくさん食べる	
ビジョンⅢ	自治会、コミュニティの方（リーダー）が中心となって、会員の意見を聞き方向性を作成	
暮らしの「便 利」と「安全」を 守るまち (治安、防災、 移動（交通）)	歩道の広い道路 通学路が暗い（特に冬） 治安、防災、交通との安全を確保するために自治会から意見を集約 大雨の時の対策 郊外と中心地の移手段	1
ビジョンⅣ	施設等々を充実する	
子育てを応援 するまち (子育て、教 育、住環境)	子供たちと農業体験 図書館リフォーム 部活に変わるサークル 義務教育の選択肢が少ない 学習の場を学校の外にも（将来の解像度を高めるために）	2
ビジョンⅤ	行政、自治会、コミュニティと協働するために意見交換して、場を作る前に近めに環境を作る	1
みんなでつくる 壬力あるまち (文化、女性、 外国人、コミュ ニティ、協働、行 政)	昔から住んでいる方と新しく住んでいる方の会話をどう進めるか 産業祭などやっていますが夜のイベントも。イルミネーション いちごの祭り、かんびょう祭り、おもちゃの祭り（イベントを増やす） 町民が町の魅力を知らない すごい能力を持つ町民の発掘 町民の負担を増やさない計画的な行財政運営 町民が主体的に町づくり（人任せにしない当事者意識）	1 2 3

※重点度は、グループ内で出た課題のうち、特に重点と考えられる課題について票を入れる方式で整理した。(Bグループ 3名×5票=15票)

## 2-3 第3回 .....

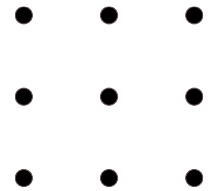
### 主なプログラム 内容

- ① レクリエーション:思考の準備体操
- ② 前半グループワーク:「取り組みを考えよう」
- ③ 後半グループワーク:「将来都市像の検討」
- ④ 発表準備&発表

#### ① レクリエーション:思考の準備体操

---

グループワークに入る前に、思考の準備体操として9ドットパズルに挑戦しました。



#### ② 前半グループワーク:「取り組みを考えよう」

---

2回目で決めたビジョンⅠからⅤの重点課題ごとに、課題を解決または実現するための取り組みアイデアを話し合いました。なお、話し合いを始める前に、5つのビジョンすべてを話し終える前に時間切れとなる可能性もあることから、話し合う優先順位を決めて臨みました。

#### ③ 後半グループワーク:「将来都市像の検討」

---

10年後にどのような姿をめざすか、まちづくりの軸となる「将来都市像」の案について話し合いました。

#### ④ 発表準備&発表

---

2回目の課題、今回の取り組みアイデア、将来都市像について話し合ってきた結果の発表を各グループから行っていただきました。



### 3 住民会議からの提言

第7期みぶ“まちづくり”住民会議から、壬生町を「住み続けたいまちにするために」検討いたしましたので、壬生町第7次総合振興計画等の策定に反映いただきますよう下記のとおり提言いたします。

#### ◇第3回「取り組みを考えよう！」と「将来都市像の検討」の結果【Aグループ】

将来都市像：

#### 住民参加でつくる 安心・健康・笑顔あふれる豊かな壬生町

##### 【取り組みアイデア】

##### ○ビジョンⅡ（みんなの「安心」を守るまち）

〔自分たちでできること〕

- ◇ 健康に関心を持つ

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

- ◇ 健康増進のために行きたくなる企画・施設を設置。

##### ○ビジョンⅢ（暮らしの「便利」と「安全」を守るまち）

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

- ◇ コンパクトシティについて住民がもっと意見を語り合える住民会議の場をつくろう。

##### ○ビジョンⅣ（子育てを応援するまち）

〔自分たちでできること〕

- ◇ 自治会活動に子どもを呼ぶ行事を多く計画する。

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

- ◇ 地域と子どもをつなぐコーディネーターの役割を置く。

##### ○ビジョンⅤ（みんなでつくる壬力あるまち）

〔自分たちでできること〕

- ◇ 中学生・高校生・大学生・専門学校生の地域貢献の機会とタイアップする。

- ◇ 自治会員でない住民でも気軽に参加できるような仕組みづくり(子どもや外国人が参加しやすい企画)。

## ◇第3回「取り組みを考えよう！」と「将来都市像の検討」の結果【Bグループ】

将来都市像：

### 老若男女が手を取り合える いい和 壬生町

#### 【取り組みアイデア】

##### ○ビジョンⅠ（若者が集まり活力みなぎるまち）

〔自分たちでできること〕

◇ オンラインコミュニティでもいいから、同世代で関わる。

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

◇ 町公式LINE等に世代別コミュニティをつくる(町情報係が治安を守る)。

##### ○ビジョンⅡ（みんなの「安心」を守るまち）

〔自分たちでできること〕

◇ (地域)見守り、ごみ拾いの継続(任せきりはダメだけど)

◇ (企業)(福祉・厚生)従業員の活動に寛容になる。

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

◇ ニーズ調査(危険箇所等)やれることはやる。

##### ○ビジョンⅢ（暮らしの「便利」と「安全」を守るまち）

〔自分たちでできること〕

◇ 自治会ごとで役場等の情報を把握、共有。

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

◇ 危険エリア等の情報をリアルタイムに反映、周知の継続。「危険な時はどうするの？」までを示す。

##### ○ビジョンⅣ(子育てを応援するまち)

〔自分たちでできること〕

◇ 地域が協力的になる。

◇ 寛容になる。

◇ 一定ラインで叱りつつ

◇ 地域に対する安心感がそもそもないので、それを回復、

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

◇ 町立学校と地元企業のマッチング(授業の時間内で)。

◇ 公園の自由度を上げる。

◇ 住民アンケート(子育て世代と子どもへのニーズ調査)。

## ○ビジョンV（みんなでつくる壬力あるまち）

〔自分たちでできること〕

- ◇ 自治会⇄コミュニティの距離を近くする。
- ◇ 町民の町への関心を高める。

〔行政(町)にお願いしたいこと〕

- ◇ 行政→町民(コミュニティ)への情報周知(わかりやすく)
  - ワンペーパーで
  - 子どもでも分かる
  - 言葉ではなく絵・図で
  - 万人が理解できる